

提出順	1	発言順	2	令和 3 年 11 月 24 日
				午前 午後 9 時 17 分受領

(2 枚中No. 1)

令和 3 年 11 月 24 日

安曇野市議会議長 平林 明 様

会 派 名

政和クラブ

安曇野市議会議員

松 枝 功

代表質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 3 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答	<input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間 30 分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	市長の施政方針等について		
質問の要旨 (具体的に記載してください) 1、市民が抱える課題の解決への取り組みについて、市民と行政、議会の三者の関係を再検討する必要があるのでは。 <ul style="list-style-type: none"> ・市と地域は対等のパートナーと言うが、その言葉で市民が損をしていないか。 ・市民の身近な課題解決に関わり、市民から議員への期待感はないのか。 ・豊かな地域づくりや新たな感性での社会づくりの場面での、市民と行政、議員の三者の協力体制強化は時代遅れか。 ・議会は年1回以上市民に対する「議会報告会」を開催しているが、市長の今後の方針は。 ・耳が痛い話や声にも耳を傾け、合理性を貫いた行政運営を進める考えは。 			

提出順	1	発言順	2	令和 3 年 11 月 24 日
				午前・午後 9 時 17 分受領

(2 枚中No.2)

令和 3 年 11 月 24 日

安曇野市議会議長 平林 明 様

会 派 名

政和クラブ

安曇野市議会議員

松 枝 功

代表質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 3 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答	<input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間 分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	市長の施政方針等について		

質問の要旨（具体的に記載してください）

2、将来的に必要と考えられるハード事業への対応が見えてこないが、財源確保も含めその考えは。

(1)子育て支援施設

- ・建設中の穂高北部児童館の形態をモデルとした児童館・児童クラブ施設の全市的な整備の考えは。
- ・令和元年度の市議会からの子育て支援施設の充実に関わる提言の取り扱いは。

(2)新市立博物館

- ・平成27年にまとめられた「安曇野市新市立博物館構想」の評価は。
- ・「頓挫」しているようにも見える新市立博物館の建設を進める考えはないか。
- ・建設財源の確保がポイントかと捉えるが、近隣自治体では新博物館建設が進んでいる現状もある。本市に戦略的考えはないのか。